

提出 順番	No. 8	平成 27 年 8 月 28 日 午前・午後 9 時 40 分受領
----------	----------	--------------------------------------

平成 27 年 8 月 28 日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 谷 口 和 弥



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>新しい命を町民全体で 祝福する町に</p>	<p>「生まれてくれてありがとう、君の居場所はここにあるからね」一。こんなメッセージを添えて、その年に生まれた子どもたちに手作りの木製椅子を贈る「君の椅子」プロジェクトが、活動開始から今年で10年目を迎えた。これまでの活動を記念した展覧会「『君の椅子』10年展～居場所を届けて～」が、7月4日から9月13日までの予定で札幌芸術の森工芸館で開催されている。会場関係者に開催期間を1か月残した時点で聞いたところ、すでに2万人以上の人々が来館しているという。</p> <p>同プロジェクトは2006年、上川管内東川町で始まった。「新しい町民」が誕生した喜びを町民全体が共有できることを目的に「工芸の町」ならではの地域活力を生かし、同町の高い木工技術を活かして作られる子ども用の椅子を、子どもの誕生にあわせて贈呈する事業である。</p> <p>同プロジェクトはその後、上川管内の剣淵町、愛別町、東神楽町、中川町に広がり、今年からは長野県売木（うるぎ）村が参加して全部で6町村となった。椅子の素材を今年からすべて北海道産広葉樹とし、椅子に生産地の地図を添え、製材や製作の工程などを「木のプロフィール」として贈り、木の伐倒から椅子の製作に至るすべての手仕事を見えるようにしたことで、地域で培われた技術への信頼と共感が広がっているという。椅子を贈呈された親子に向けたアンケート調査結果を見ても、事業の趣旨への感謝や子供の成長に対する喜びの声にあふれている。</p> <p>地域の支えあう力が弱まる中で、子どもや高齢者の人格・</p>

人権が損なわれる事象が相次いでいる。この世に産声を上げた新しい命は、家族にとってこのうえない財産であるだけでなく、地域社会においてもかけがえのない財産である。喜びをともに分かち合える地域社会をつくっていくうえで、たいへん参考になる事業であると考えている。

については、以下の点について伺う。

① 「君の椅子」プロジェクトにわが町も参加することを検討する、もしくは同プロジェクトと趣旨を同じくしてわが町の地域活力を生かした新生児誕生を祝福する事業の新設を検討すべきと思うがいかがか。

② わが町独自の出産祝金制度の新設に対する考えは。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。